

「わくわく算数教室」スタート！

8月21日(水)、片葩小学校で毎年恒例の「わくわく算数教室」がスタートしました。今年で12年目の取り組み。保護者・子どもたちからも信頼の厚い学習会です。学校全体の約4割の子どもたちが、夏休みに SP さんと勉強するために、暑い中、学校にやってきます。夏休みも後半、まもなく始まる2学期に向けて、子どもたちの気持ちを高めてくれる SP さんの存在は大きいです。



「今年も昇降口で SP さんが挨拶してくれているかな？」と思い、1階に行ったら外で子どもたちに声をかけてくれていました。「暑いのに、なんで外に居るの?!」と、驚いて声をかけると、「玄関を入ったところが薄暗くて……。明るいところであいさつした方が気持ちいいかなと思って。」と話す SP さん。子どもたちはとても嬉しそうでした。こうした気遣い・心遣いができるってすごいです。ありがとうございます。(でも、暑いので無理はしないでくださいね。)

わく算、スタート！子どもたちと SP さんの元気な声がなかよし音楽広場に響きます。「今年も始まったなあ」とワクワクします。SP さんと子どもたちの“笑顔”と“真顔(真剣な顔)”がたくさん見られることを、楽しみにしています。



私は一般企業で働いた経験がありますが、その時「学校ってなんてドラマチックな場所なんだろう。」と思ったことがあります。メディアでは教師という仕事の大変さ(時にはブラックさ)がたびたび報道され、よく目につくかと思いますが、実際には、楽しいこともたくさんありますし、やりがいを感じる瞬間もたくさんあると先生方からよくお話を聞きます。今回参加してくれている SP さんのほとんどが教師を目指していると思いますが、中には他の職種への就職を考えている SP さんもいると思います。「教育」は、仕事や子育てなどいろいろな形で生涯みなさんに関わってくるものだと思います。それぞれの想いは大切にしつつ、目の前の子どもたちとの“今この瞬間”を楽しみながら活動してもらえたらと思います。第1日目、最高の初日でした。お疲れ様でした！



片葩小の先生方も子どもたちの様子を見に来られていました。担任の先生が来ると、やっぱり子どもたちは嬉しそう。素敵な瞬間です。そんな先生と子どもの関係を間近で見たり会話を聞いたりすることも、SP さんにとって貴重な学びの機会です。